

平成19年度編入学生募集要項

編入学案内

1. 鈴鹿高専ができた背景と歴史

昭和37年(1962年)4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校(略称「高専」)です。

鈴鹿高専は全国で12ある一期校の一つとして設立され、機械工学科、電気工学科(現電気電子工学科)、工業化学科(現生物応用化学科)の3学科体制で出発しました。その後金属工学科(現材料工学科)と電子情報工学科が増設され、これまでに6,200人以上の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程を卒業後さらに2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成16年4月には工学教育の新地平をめざして、これまでの文部科学省から新しく設立された独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する高専として組織改変がなされています。また、平成17年9月には設置基準が改定され、4、5年生においては国際基準にほぼ合致する大学単位制を導入することができるようになりました。

2. アドミッション・ポリシー(編入学者受入方針)

(1) 教育理念

21世紀を迎えた今、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では次のような教育理念を定めて意欲ある創造的な技術者の育成に努めています。

広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。

科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。

未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。

心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

(2) 求められる編入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上を目指して継続的に自己学習ができる人
- ・豊かな想像力と行動力をもった人
- ・論理的に物事を考えることができる人
- ・英語学習に情熱をもち、国際社会で活躍してみたい人の入学を歓迎します。

(3) J A B E E (日本技術者教育認定機構) 認定教育プログラムの推進

本校では教育内容の継続的な改善・向上をめざして、国際水準を満足する技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」を構築し、平成15年度からJ A B E E (日本技術者教育認定機構)の正式認定校となりました。編入学生は入学と同時にこのプログラムの履修生となります。

専攻科へ入学しJ A B E E プログラムを修了した場合には技術士の一次試験が免除されます。

3. 修業年限および学科卒業生の称号

(1) 修業年限

本校の修業年限は5年ですが、編入学生は第4学年から学習しますので2年間です。

(2) 学科卒業生の称号

5学年卒業者には「準学士(工学)」の称号が授与されます。

なお、卒業後専攻科に入学し、大学評価・学位授与機構の審査に合格すれば「学士(工学)」の学位が授与されます。

4. 学科紹介

機械工学科

機械工業界は産業の基盤といわれ、半導体の製造から大規模プラント建設に至るまで、生産を伴う工業は機械工学の関連なしには成り立ちません。今日、生産の省力化、自動化、高能率化のために機械の多くにはエレクトロニクスによる制御が組み入れられ、従来からの設計や製造技術などに関するもののほか、情報やエレクトロニクスの知識も不可欠となってきています。機械工学科では、機械工学の基礎理論とその応用に重点を置きながら、種々の工学の基礎について学びます。実験・実習については、従来の機械工学的なものに加え、メカトロニクス、C A D / C A Mなどコンピュータ応用技術に関するものも勉強します。

電気電子工学科

今日、電気はエネルギー源としてばかりでなく、情報の伝達や自動制御の手段として必須のものになっています。電気電子工学科では、あらゆる分野の産業において進行する多様化、高度化した情報社会に対応するため、電気電子に関する基礎知識について重点的に学習します。制御工学、エレクトロニクス、通信工学などの幅広い応用分野についても学習するとともに、実践力を養うために電気電子工学実験を重視しています。

電子情報工学科

エレクトロニクスとコンピュータ技術が飛躍的に発達し、生活に深く関わりを持つ時代が到来しています。電子情報工学科では、このような情報化社会を支えるエレクトロニクスとコンピュータ技術について学びます。具体的には、専門基礎である電磁気、電

気回路、電子工学、デジタル回路、情報処理、ソフトウェア工学、計算機ハードウェア、制御工学、情報伝送工学などを重点的に学びますが、更に応用力、実践力を身につけるため創造工学、電子情報工学実験、プログラミング演習なども受けることとなります。

生物応用化学科

生物応用化学科は2コース制で、工業化学の基礎を十分に理解し、情報・新素材・環境等に精通した素材・生産・環境保護に対応できる総合力を有する実践技術者を養成する「応用化学コース」と、化学に基礎を置いた生物工学に精通し、今後の新しいバイオテクノロジーに対応でき、情報・環境等に精通した生物工学的生産や環境保護に対応できる総合力を有する実践技術者を養成する「生物化学コース」があります。

コース制に伴う少人数のきめ細かい教育を施すことにより、素材・生産・環境を総合的に捉えられる創造性豊かな応用化学系実践技術者と生物化学系実践技術者の養成を行っています。

材料工学科

工業発展の基礎となる金属、セラミックス、あるいは高分子材料に関する科学技術は目覚ましい発展を遂げつつありますが、近年は更に革新的な材料への要求が強まり、今までの常識を一変させるような新素材が次々と出現しています。本学科においては、広く金属材料、セラミックス材料、高分子材料、複合材料、そして多機能を有する新素材に関する基礎専門知識について学習するほか、実験実習を含め、設計製図、電子工学、機械工学、情報処理などの勉強も行います。

5 . 編入学後の教育

(1) 教育課程

本校の教育課程は、別表1（一般科目）、別表2（専門科目）のとおりです。編入学生は第4学年以降の科目を履修します。（平成19年度については、1部変更されることもあります。）

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育に力を入れており、4, 5学年では全員にTOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IPテストを含む。）受験を義務づけています。

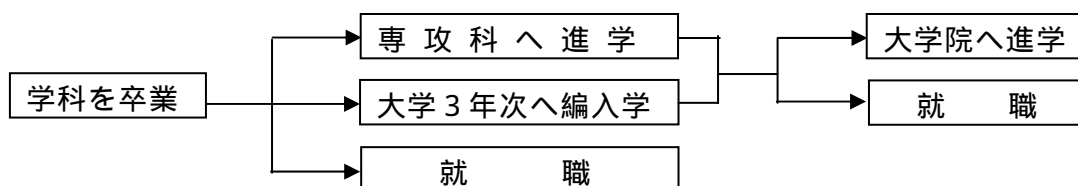
(2) 学習指導について

編入学合格者に対して、入学前に予備学習のための支援を行います。（編入学の前年度の12月中旬及び3月下旬に、編入学する学科の基礎的な専門科目について担当教員から教科書等を用いて学習支援を行います。）また、入学後必要に応じて補講等の学習指導やチューターによる学習支援を行います。

(3) 第4学年編入学時の単位認定について

編入学生には、本校学生が1～3学年で修得すべき単位数と同一の単位数を一括認定します。

6. 卒業後の進路



最近では卒業生約200名のうちおよそ100名が進学し、そのうち30名程度が本校の専攻科へ入学、残り約70名が大学への編入学（ほとんどが国立大学の通常3年次へ編入学）を選んでいます。また約100名の就職希望者に対して、過去3年間は一人あたり十数社からの採用申込み（求人）があり、その結果として希望者全員の就職が実現しています。

専攻科に入学した学生の修了後の進路は、大学院への進学及び就職となります。最近では推薦入学制度がかなり整備されてきており、大学院への進学希望者が増えています。また、就職する学生に対しては学科学生以上に高い求人倍率となっています。

このように、本校の卒業生や修了生の進路は多様であり、どの道を選択するかは入学後自由に決めることができます。

平成15～17年度卒業生 大学編入学・高専専攻科合格状況

大学・専攻科 \ 年度	15	16	17	3年間計	大学・専攻科 \ 年度	15	16	17	3年間計
鈴鹿高専専攻科	46	42	39	127	福井大学(工)	2		3	5
鳥羽商船専攻科		1	1	2	山梨大学(工)	1		2	3
三重大学(工)	11	8	18	37	信州大学(工)	1	1		2
三重大学(生物資源)	1	1		2	信州大学(理)	1			1
名古屋大学(工)	1	1	4	6	信州大学(繊維)		2	4	6
名古屋大学(文)	1			1	京都大学(工)	1	1	2	4
名古屋大学(情報文化)		2	1	3	京都工芸繊維大学			1	1
名古屋工業大学(工)	3	3	8	14	大阪大学(基礎工)		2	3	5
岐阜大学(工)	6	11	10	27	神戸大学(理)		1	2	3
岐阜大学(農)	1	1		2	神戸大学(工)			1	1
岐阜大学(応用生物)			2	2	奈良女子大学(理)	1	4	4	9
静岡大学(工)	2			2	島根大学(生物資源)		1		1
豊橋技術科学大学	12	10	17	39	岡山大学(理)		2	1	3
北海道大学(工)			1	1	岡山大学(工)	1	2	2	5
北海道大学(文)	1			1	岡山大学(環境理工)		1		1
室蘭工業大学	1			1	広島大学(工)	2	4	1	7
東北大学(工)			2	2	広島大学(理)		1		1
山形大学(工)			1	1	徳島大学(農)	1			1
筑波大学(第三学群)		2	5	7	愛媛大学(理)	1			1
千葉大学(工)	1			1	九州工業大学(情報工)		1		1
群馬大学(工)			1	1	長崎大学(工)	1			1
東京大学(工)			1	1	琉球大学(工)		1		1
東京農工大学(工)		2	1	3	大阪市立大学(理)		1		1
東京工業大学(工)	1	1	1	3	大阪府立大学(工)	1	3	1	5
東京工業大学(理)	1			1	広島市立大学(情報)			1	1
東京工業大学(生命理工)		2		2	立命館大学(理工)	5		2	7
電気通信大学	1	1	1	3	豊田工業大学			1	1
横浜国立大学(工)	1		1	2	創価大学(工)			1	1
新潟大学(工)		1	2	3	関西福祉大学	1			1
長岡技術科学大学	5	1	1	7	仏教大学	1			1
金沢大学(工)	1		1	2	合計(延べ人数)	118	118	151	387

平成15～17年度卒業生就職先一覧

アイシン精機(株)	神鋼電機(株)	日本貨物鉄道(株) 東海支社
(株)アイズ	新日本石油(株)	日本システム開発(株)
旭化成(株)	(株)スギ薬局	日本車輛製造(株)
旭化成ライフ&リビング(株)	鈴鹿富士ゼロックス(株)	日本新聞インク(株)
旭化成ケミカルズ(株)	住電エレクトロニクス(株)	日本精工(株)
旭電器工業(株)	住友電装(株)	日本たばこ産業(株)
味の素ゼネラルフーズ(株)	総合警備保障(株)	日本電話施設(株)
アルバック(株)	ソニーイーエムシーエス(株) 一宮テック	日本ペイント(株)
(株)イ・テック	ソニーイーエムシーエス(株) 幸田テック	日本ミルクコミュニティ(株)
石川島播磨重工業(株)	ソニーイーエムシーエス(株) 長野テック	ネクストウェア(株)
(株)NAX	ソニーイーエムシーエス(株) 浜松テック	ナリタケ伊勢電子(株)
内田鍛工(株)	ソニーイーエムシーエス(株) 美濃加茂テック	パイオニア(株) 川越事業所
ウッドランド(株)	ソニー(株) 厚木テクノロジーセンター	パイオニアディスプレイプロダクト(株)
(株)エクセディ	ソニー(株) MSNC	パナソニックエレクトロニックデバイス(株)
NEケムキャット(株)	第一工業製薬(株)	(株)バンテクト
エヌケーケー総合設計(株)	ダイキン工業(株)	(株)半導体エネルギー研究所
(株)エヌ・ティ・ティデータ	ダイソウ工業(株)	(株)日立製作所
(株)エヌ・ティ・ティコム東海	(株)大同キャスティングス	広瀬テクノロジー - (株)
エヌ・ティ・ティコムウエア(株)	大日本インキ化学工業(株)	フードテクノロジーエンジニアリング(株)
王子製紙(株)春日井工場	太陽化学(株)	富士重工業(株)
大阪ガス(株)	(株)高田工業所	富士ダイス(株)
小木曽工業(株)	(株)タマディック	(株)フジボウアパレル
オリンパス(株)	中外医薬生産(株)	ブラザー工業(株)
オンキョウエレクトロニクス(株)	中京油脂(株)	ベスポ(有)
海上自衛隊	中部電力(株)	豊栄工業(株)
花王(株)	中部クノール食品(株)	宝永プラスチック(株)
(株)カネカ	中部国際空港施設サービス(株)	本田技研工業(株)
カヤバ工業(株)三重工場	中部工業(株)	マイルストーン(株)
河村産業(株)	(財)中部電気保安協会	(株)前川製作所
関西ペイント(株)	(株)中部プラントサービス	(株)マックスシステムズ
(株)きもと	津マリンデザイン(株)	松下電工(株)津工場
京セラミタ(株)	DSソフトウェア(株)	マルホ(株)
京セラ(株)伊勢工場	(株)ティエスシー	三重金属工業(株)
協和発酵ケミカル(株)	デンソーテクノ(株)	三重県警
(株)キヨリックス三重	(株)デンソークリエイト	(株)三鈴テクノクス
クノール食品(株)	(株)東海精機	水谷建設(株)
クリエイティブ(株)	(株)東海理化電機製作所	三菱化学(株) 四日市事業所
ゲンゼ(株)	東海旅客鉄道(株)	三菱化学エンジニアリング(株)
(株)ケーブルネット鈴鹿	東芝産業機器製造(株)	三菱電機ビルテクノサービス(株)
国分プレス工業(株)	東芝ジュネデール・インバータ(株)	(株)ミルボン
(独)国立印刷局	(株)東洋	村田機械(株)
小島プレス工業(株)	東洋インキ製造(株)	ムラテック販売(株)
(株)サイタスマネージメント	東レ(株)	明治乳業(株)愛知工場
SUNX(株)	トータスエンジニアリング(株)	明治乳業(株)
サンテック(株)	(株)トーマ -	(株)明菱
サントリー(株)	トステム(株)	モリテックスチール(株)
三友工業(株)	凸版印刷(株)	森永乳業(株)
三洋電機(株)	(株)トピア	矢崎総業(株)
(株)シ・クス	豊田合成(株)	(株)安永
JR貨物(株)東海	トヨタ自動車(株)	八千代工業(株)
JR東海(株)	(株)トヨタテクノサービス	(株)ユーエルエーベックス
JR西日本(株)	トライス(株)	雪印乳業(株)
JSR(株)四日市工場	(株)永井商会	(株)吉野工業所
(株)JSP	(株)中川製作所	陸上自衛隊
JSR(株)	西日本旅客鉄道(株)	理研産業(株)
JFEスチール(株)	西日本電信電話(株)	リコーテクノシステムズ(株)
塩野義製薬(株)	(株)日産テクノ	ロート製薬(株)
資生堂ホネケーキ工業(株)	日清紡績(株)	(株)ロンビック
シャ - プ(株)	日東電工(株)	和光純薬工業(株)
(株)ジャパンアウトソ - シング	日東電工(株) 豊橋事業所	
(株)JAL航空機整備成田	ニプロファーマ(株) 伊勢工場	
(株)勝喜テクノス	日本科学冶金(株)	
昭和四日市石油(株)		

平成17年度の求人状況は就職希望者117人に対し1,669件、求人倍率約14倍で、希望者全員が就職しています。

7 . 学生支援制度等

(1) 課外・クラブ活動

学生自身が運営する「学生会」のもとに、18の体育系クラブと11の文科系クラブ、17の同好会があり、若者のやりたいことのほとんどすべてが揃っているという感じ です。毎年7月には全国大会へとつながる東海地区高専体育大会が開催され、平成17年度には52種目中18種目で鈴鹿高専が優勝を果たしています。また、ソーラーカーレース、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、エコランレースへの参加など理工系の学校らしい活動もできます。どんなクラブがあるか等、詳細は本校ホームページ <http://www.suzuka-ct.ac.jp/studentlife/club>をご覧ください。

(2) 学寮

学校敷地内に、学生のための寮である「青峰寮」(低学年男子寮、高学年男子寮、女子寮、留学生・専攻科生寮)があり、希望する学生はほぼ入寮することが出来ます。寮は自宅が遠い、勉学やクラブ活動に励みたい、社会性を身につけたいなど様々な理由をもつ学生の支援制度として大切な役割を果たしています。現在約380名(うち女子学生70名余)の学生が生活をしており、規則正しい共同生活を行いながら、多くの学生が勉学や課外活動に励み、また寮祭などの行事を楽しみ、一生つき合える友人を得て、社会へ出ていきます。

(3) 学生支援室

学内の教職員(看護師も含む。)で組織されている学生相談員のほかに、学外からの専門のカウンセラーが協力して、学生の健康・学習・進路・クラブ活動などに関すること、交友関係・異性問題・家庭問題・情緒・性格など学生の悩みごと全般に気楽に相談できる場が設けられています。

(4) 奨学制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構(旧 日本育英会)の規定に基づき学業・人物ともに優れ健康な者で、経済的理由により著しく修学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ奨学金が貸与されます。

参考 平成18年度現在の貸与月額、次のとおりです。

区 分		4・5 学年
第 一 種 無利子	自宅通学	44,000円
	自宅外通学(寮生含む)	50,000円
第 二 種(きぼう21プラン)有利子		30,000~100,000円選択

(5) 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している者が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあり

ます。

・授業料免除

経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

8 . 入学時に必要な経費（予定額）

学校納入金

項目	金額（円）	備 考
入学料	84,600	
授業料	117,300	年額234,600円の前期分 後期分は10月に納入 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
合計	201,900	

入学時に必要なその他の経費

項目	金額（円）	備 考
学生会費	10,200	入会金及び1年分会費
教育後援会費	22,600	入会金及び前期分会費
傷害共済会費	500	1年分
日本スポーツ振興センター会費	1,520	1年分
合計	34,820	

* 上記の他に、諸経費積立金27,000円（前期分）及び教科書教材費等約40,000円（学科によって異なります。）が必要です。

入寮生経費

項目	金額（円）	備 考
寄宿料	4,800	月額800円の前期6ヶ月分 後期分は10月に納入
入寮費	4,000	入寮時のみ納入（布団カバーの購入経費）
学寮生活費	29,550	年額59,100円の前期分 後期分は10月に納入 私生活のために使用する光熱水費、消耗品費等
合計	38,350	

* 別途食費が必要です。